

総務常任委員会

幸手市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例（議案第2号）

**問** 特殊勤務手当の支給対象として、想定される防疫作業は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の患者もしくは、その疑いのある方が避難所に避難されてきた時に、避難所に従事する職員を想定している。また、避難所だけでなく、具体的な症例が発生した場合には、その都度市長が判断し対応する。

令和2年度幸手市一般会計補正予算（第11号）  
（議案第10号）

**問** ふるさと納税寄附金の増額理由は。

**答** 当初予算では、500万円を計上していたが、令和2年12月末時点の合計で、1千万円を

超える寄附があり、この要因として、令和元年8月からインターネットの受付を開始したこと、令和2年6月からインターネット受付サイトを2つから3つに増やしたこと、コロナ禍の影響により4月から7月にかけて多くの寄附金があったためである。



**問** 特別定額給付金受付業務委託料の減額理由は。

**答** 420万4千円の減額は、当初予算で、受付期間とその後事務処理等を併せて、120日間×3人、延べ360人と見積もったが、全庁的な職員の応援体制を敷いたことで、受付期間の90日間で業務が終了できたことから、今回の減額になった。

令和3年度幸手市一般会計予算  
（議案第15号）

**問** 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の積算根拠は。

**答** この交付金は、新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度より設けられた、中小企業等が所有する償却資産および事業家屋に関する固定資産税、都市計画税の課税標準特例措置となるもので、事業者の収入減の割合によって、固定資産税が減額・減免される制度である。相談件数により、申請件数を見込んで予算計上した。

**問** 公共施設等総合管理計画改訂業務委託料の内容は。

**答** 公共施設等総合管理計画は、平成29年3月に策定され4年が経過する。国の指針では、策定から一定期間が経過したところや、国のインフラ長寿命化計画の見直しが予定されていることを踏まえ、令和3年度中に総合管理計画の見直しを行うよう

示されている。公共施設の点検や個別施設計画に掲げた内容を反映させるなどの見直しを実施して順次充実にすることに対応するための予算計上になっている。

**問** 一時借入金利子償還金500万円の積算内容は。

**答** 限度額を概算で10億円、金利については、短期プライムレートが1.725%から1.475%の間を動いていることから1.5%前後とみて積算した。

**問** 債務負担行為の循環バス運行事業、2億1千452万1千円の積算根拠は。

**答** 令和4年度から令和8年度の5年間を設定している。運行の開始準備業務が57万9千円、運行管理業務が1億8千600万円、一般管理費が1千860万円、消費税を合わせて総額2億2千500万円になる。ここから令和3年分の当初予算に計上した分を除いて、2億1千452万1千円を予算計上した。



# 文教厚生常任委員会

**改正する条例（議案第3号）**  
幸手市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を

**問** 幸手市で、すぐに電子資格確認ができるのか。

**答** 医療機関でのICチップ等のカードリーダーの配置状況について把握していないので、現時点ではお答えできない状況だが、この読み取り装置の配置も徐々に進んでいるという厚生労働省の発表はある。

**令和2年度幸手市一般会計補正予算（第11号）（議案第10号）**

**問** 生活困窮者自立支援給付費の住居確保給付費の内容と減額理由について。

**答** 離職を理由に住居を失った、または失うおそれのある者に対し、就労を自立できる程度の収入を得るまでの期間、家賃相当額を3か月支給するもので、申請給付である。

当初予算では2世帯分で予算を組んだが、その後、コロナ禍などの社会情勢を考え、30世帯分を増額する補正予算を組み、対応することとした。しかし、最終的に、5世帯の利用というところまでまわっているのが、年度末までの利用世帯数を9世帯ほどと見込んで、減額したものである。

**令和3年度幸手市一般会計予算（議案第15号）**

**問** 運転免許証自主返納者支援事業業務委託料、150万円の内容と返納の証明について。

**答** 本業務は、免許証を自主返納された高齢者の方に対して、タクシール乗車料の初乗り運賃を補助するもので、この取り扱いを市内の業者に委託するものである。また、返納の証明については、警察に手続きをすると、警察から返納したという証明書が出る。

**問** 地域生活支援拠点事業負担金の内容について。

**答** 障がい者の重症化・高齢化や親亡き後を見据えた居住支援のための機能を備えた事業所である。蓮田市、白岡市、杉戸町、宮代町、幸手市の3市2町により、埼玉北部地区障害者自立支援協議会をつくっており、この事業所を令和3年度に新たに設置するにあたり、その運営を社会福祉法人に委託するための、各市町の負担金となるものである。

**問** 保健体育総務費の警備業務委託料の内容について。

**答** パラリンピックのコースは、まだ発表にはなっていないが、聖火リレーの走行に伴う警備、迂回等に関する警備、沿道の皆さんが出ていかないようコースに配置し、警備をするもので、70名の警備員とそれに伴う一式の備品等を用意するため、318万5千円を計上したものである。

**令和3年度幸手市国民健康保険特別会計予算（議案第16号）**

**問** 保険給付費が増えている一方で、国民健康保険税が減っている理由について。

**答** 保険給付費については、埼玉県から提示された金額を基に予算計上している。一方、国民健康保険税については、今般の新型コロナウイルス感染症の影響による減を見込んでいた。従来より、2%から4%の減を見込んだ結果、今回の予算額となったものである。

**令和3年度幸手市介護保険特別会計予算（議案第18号）**

**問** 在宅医療・介護連携推進事業委託料に係る介護と医療の連携について。

**答** 本事業は、幸手市と杉戸町で共同でお願いしている。東埼玉総合病院の中に、事務局「菜のはな」を置き、幸手市がモデルケースになり、全国に発信したところである。特徴としては、どちらかという

と、現場へ出ていき、いろいろな話を聞いてくる。また、逆に相談を受けるという形で、これまでにならぬ形で医療と現場とボランティアを融合させながら進めている。ある程度メニューが整っており、こちらを拠点に、これからの地域共生社会の一つとして、頑張っていけるのではないかと考えている。



建設経済常任委員会

令和2年度幸手市一般会計補正  
予算(第11号)(議案第10号)

問 古川橋架替工事が減額となつた理由は。

答 工事内容が確定したことによるものである。本工事は、当初設計から、河床から下の部分で杭を切断する工法で工事を発注。杭を切断するためには川の中を締め切る仮締切の矢板を打ち込む工事もあり、トータル的には経済的な工法であるが、経費としては392万円を減額するものである。

令和2年度幸手市幸手駅西口  
土地区画整理事業特別会計補  
正予算(第2号)(議案第14号)

問 繰越明許費の繰越理由は。

答 調整池本体整備事業は、北側の擁壁ブロックを工事する際、掘削をしたところ大量の地下水の流入があり、長さ10メートルの遮水矢板を

令和3年度幸手市一般会計予算  
(議案第15号)

22・8メートル追加で打つこととなった。その遮水矢板の調達に1か月の期間を要したため繰り越しするもの。西口停車場線道路築造等事業は、国の3次補正が補助金が付きやすいことから令和3年度に予定していた工事を前倒しし、未契約繰越する。物件移転補償事業は、家屋一棟の移転完了が今年度見込めなくなつたため、契約完了後に支払う3割の残金分を繰越すものである。

問 市民まつり業務委託料360万円の委託先および来年度の来客見込み数は。

答 幸手市商工会が事務局となり、実行委員会形式で幸手市民まつりの会に委託している。来年度は5万人程度の来客数を見込んでいる。開催については、コロナウイルス感染症対応も十分考慮しながら市民まつりの会と協議していく。

問 中心市街地にぎわい創造事

業費補助金の事業内容および委託先、市の企画立案への関わりは。

答 市で作成した幸手市中心市街地にぎわい創造方針に基づき、商店街等支援事業や特産品の開発普及促進、空き店舗の既存ストック活用事業を展開している。事業は商工会から提案を受け、市は助言等行っている。今年度は幸手駅自由通路の活用事業、空き店舗「幸せの駅プラス」へのWiFi設備、桜グッズ開発、幸手桜高校の生徒さんとの桜あんぱん開発など実施。来年度事業費343万円のうち市が170万円を補助する。



問 市道1322号線道路は基本的に路盤が悪く、舗装工事という表層工事ではなく抜本的な工事はできないか。また、大型車の通行を規制する看板を設置するなどできないものか。

答 本予算は、公共施設等適正管理推進事業債という表層工事のみ適用できる事業債を使うもので、路盤の強化策については別途、道路補修工事に対応していく。また、大型車規制については道路管理者

からのお願として看板等の設置が可能かどうか、今後検討する。

令和3年度幸手市農業集落排水  
事業特別会計予算(議案第19号)

問 汚泥処理の経費が高いのでは。また、借入金の償還期間は。

答 委託規模はここ数年、同程度で推移している。汚泥の含水率については過去に発生汚泥量を少なくする試みを行ったことがあるが、バキュームカーが吸える固さとして今の状況はほぼ適正な運転と考える。また、借入金償還の最終年度は令和18年度を予定している。

令和3年度幸手市幸手駅西口土地区画  
整理事業特別会計予算(議案第20号)

問 新年度の工事予定は。

答 駅前の南側にある歩行者専用道路の整備、市道616号線西側道路の整備、412号線の道路拡幅・U字溝整備の3路線を予定している。換地や補償など、工事の進捗が見えにくい部分もあるが、地元的地権者には、区画整理ニュースでお知らせしている。